

小西甚一著「新装版 基本古語辞典」大修館書店、2011 年 4 月 1 日刊を読む

うつくし(愛し、美し)

1. 中古語。「愛したくなるようなようす」の意で英語の lovely にあたる。(beautiful とはちがう。) かわいらしい。愛らしい。

〔例〕①「うつくしきもの。瓜にかきたるちごの顔」(枕、151 段)

②いとよくつきむつびきこえたまへれば(ナオツキニナルノデ)、いみじう

「うつくしきもの得たりとおぼしけり」(源氏、薄雲)

2. (おもに中世以降 beautiful の意で)きれいだ。

〔例〕「これなる松にうつくしき衣かかれり」(謡、羽衣)

3. (1)結構だ(英語の good にあたる)

〔例〕「(犬宮)琴ガ上達シタトイウ報告ニ対シ院ハ)いとよう笑ませたまひて、『うつくしき事かな(結構ナ話ジャ)』」(宇津保、楼上)

- (2)みごとだ。(英語の fine にあたる)

〔例〕「大学の君 その日の文(試験ノ答案ヲ)うつくしう作りたまひて、進士になりたまひぬ」
(源氏、少女)

4. 角(かど)が立たない。円満だ。

〔例〕「一夜の無礼はありもやしけむ(イツゾヤハ失礼シタカモシレマセンガ)、さらに覚えはべらぬは、仲澄(=ワタシ)が酔いこそ進みてはべりけめ(=飲ミスギタンデショウ)などのたまひて、うつくしく(=シタシク)ものがたりなどしたまふ」(宇津保、嵯峨院)

〔例〕「(氣ニ入ラナイ奉公人デモ契約ガ)半年の事と思へば、大方の事は堪忍して、うつくしう出替はり(契約更新期)まで使うて暇出さるる」(西鶴織留、巻五ノ二)

5. (近世語)心や行動がさっぱりしている。しつこくない。

〔例〕「これまでお頭(かしら)や平(ひら)殿がうつくしう(=アッサリト)口説いてみらるるによって」(伎、韓人漢文)

P69 ~ 70

〔コメント〕

古語辞典の最高傑作(けっさく)、小西甚一先生の「基本古語辞典」は一語一語かみしめるように読むと興味が尽きない。ここに引用した「うつくし」は中古語では「lovely」、時代が移り中世以降は「beautiful」、更には「good」や「fine」、「円満」、「しつこくない」などの意味をもつことを知るよろこびは大きい。是非、手元に一冊持ち、一生にわたって折に触れて親しんでいただきたい辞書。